

みずほCustomer Desk Report 2024/03/15 号 (As of 2024/03/14)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.70
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.58	1.0953	161.60	1.2802	0.6629
SYD-NY High	148.36	1.0953	161.90	1.2822	0.6631
SYD-NY Low	147.44	1.0881	161.13	1.2732	0.6569
NY 5:00 PM	148.32	1.0882	161.42	1.2755	0.6581
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,905.66	▲ 137.66	日本2年債	0.1900%	0.0000%
NASDAQ	16,128.53	▲ 49.24	日本10年債	0.7700%	0.0100%
S&P	5,150.48	▲ 14.83	米国2年債	4.6925%	0.0611%
日経平均	38,807.38	111.41	米国5年債	4.2911%	0.0987%
TOPIX	2,661.59	13.08	米国10年債	4.2913%	0.1044%
シカゴ日経先物	38,365.00	▲ 90.00	独10年債	2.4185%	0.0640%
ロンドンFT	7,743.15	▲ 29.02	英10年債	4.0855%	0.0675%
DAX	17,942.04	▲ 19.34	豪10年債	4.0670%	0.0420%
ハンセン指数	16,961.66	▲ 120.45	USDJPY 1M Vol	8.27%	▲0.21%
上海総合	3,038.23	▲ 5.60	USDJPY 3M Vol	8.54%	0.26%
NY金	2,167.50	▲ 13.30	USDJPY 6M Vol	8.36%	▲0.02%
WTI	81.26	1.54	USDJPY 1M 25RR	▲1.36%	Yen Call Over
CRB指数	282.95	1.86	EURJPY 3M Vol	8.00%	0.28%
ドルインデックス	103.36	0.57	EURJPY 6M Vol	8.04%	0.05%

東京	東京時間のドル円は147.58レベルでオープン。米金利の上昇にドルに買い戻しが入ったことに加えて、引けにかけて日経平均株価がプラスに転じたことも好感され148円台手前まで上昇したのち、147.90レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.90レベルでオープン。材料難で小動き。147.69レベルでNYに渡った。欧州株も金利も動意薄だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。日本株の堅調な展開を横目に、円売りが優勢となり、147.97まで上昇。しかし、その後は上昇していた米金利の低下を受け伸び悩み、147.69レベルでNYオープン。朝方には複数の米経済指標の結果が発表され、米2月コアPPI(前月比)が予想を上回り、米インフレが依然高止まりしている事が示された一方、米2月小売売上高(前月比)は予想を下回り、強弱混合の結果となる。発表直後は147.57から147.99の間での売り買いが交錯するも、徐々にドル買いが優勢となり、その後148円ちょうど付近まで上昇。続いて一部で報道された「日銀が来週に開く金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する方向で調整に入った」との速報が伝わると、瞬時に147.44まで円が買われる。しかし、円買いは長く続かず、その後も米金利が上昇幅を拡大する展開に買いが優勢となり、148.30付近まで上伸。午後は米金利が高水準で推移する展開がドル高基調を強め、148.36まで値を上げる。その後も高値圏での推移が続き、148.32レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。独金利の低下や、ストウルナス・ギリシャ中銀総裁の「夏季休暇前に2回の利下げ必要」との発言を受け、ユーロドルは上値重い展開となり、1.0942レベルでNYオープン。午前中は先述の強い米PPIの結果を受け、米金利の上昇が一段の重しとなり、1.0890付近まで下落。午後もユーロ安の流れが続き、1.0881まで値を下げる。その後も上値重い推移が続き、その後1.0882レベルでクロス。

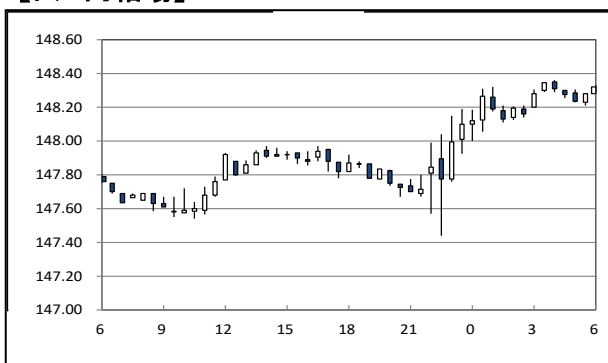
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月14日	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	2月 0.6%	0.8%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	2月 0.3%	0.5%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.6%/1.6%	0.3%/1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9-Mar 209k	218k
3月15日	03:30	欧 ストウルナス・ギリシャ中銀総裁 講演	-	「夏休み前に2回の利下げが適切」

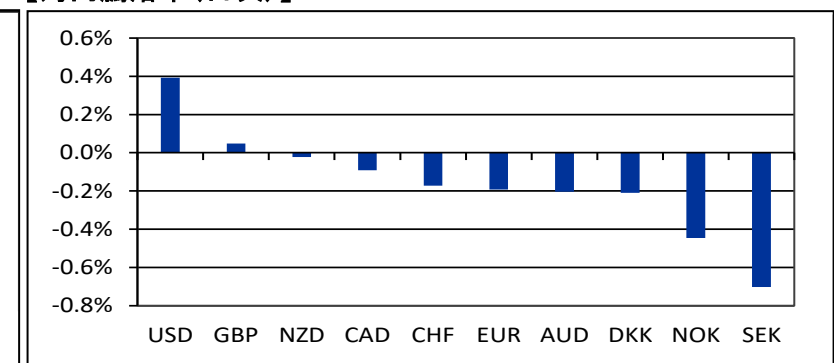
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月15日		日 連合 春闘第1回回答集計結果公表	-	-
	16:15	日 連合 記者会見	-	-
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.8%/2.9%	0.8%/2.9%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	3月 -7.0	-2.4
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.0%	-0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 77.1	76.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-149.00	1.0800-1.0950	160.20-162.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は147.58レベルで東京オープン後、NY時間に発表された米2月PPIでは市場予想を上回り、米インフレが依然高止まりしていることが示されると148円丁度付近まで上昇。その後、「日銀が来週に開く金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する方向で調整に入った」とのHLIに円買いで反応も長続きせず、米金利の上昇にドル円も反発すると148.36を付け同水準でクローズ。
本日は春闘の一回目の集計結果が公表される予定。春闘の集中回答日以降、多くの会社が満額回答を実施しており賃上げ率上昇への期待値は高い。かかる状況下、昨年の第1回にて示された結果3.8%対比で良好な結果となれば、来週に控える日銀会合でのマイナス金利解除への後押し材料となる為、円買いで反応するだろう。ただ、市場は3月会合でのマイナス金利解除について相応に織り込んでおり円買いは限定的に終わると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・西